

令和2年度事業報告書

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

社会福祉法人柳川市社会福祉協議会

令和2年度 事業報告概要

今年度は、2度の緊急事態宣言が発令されるなど、新型コロナウイルス感染症の拡大は本会の事業推進に大きな影響を与えた1年となりました。様々な事業の中止や延期を余儀なくされる中、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、感染拡大防止に配慮しながら実施可能な福祉活動の実践に取り組みました。

事業の推進にあたっては、平成30年に策定した「第2期柳川市地域福祉活動計画」に基づき、地域住民の個別ニーズに応える生活支援や地域の福祉関係者及び団体等と連携し、制度の狭間にある様々な福祉課題に対応していくための福祉事業や福祉活動を実施、推進してきました。

《重点目標について》

1. 第2期地域福祉活動計画の推進

新型コロナウイルス感染状況を考慮し、第2期地域福祉活動計画の中間年の取り組みを進めました。

5期目を迎えた福祉委員については、150人の新任者を含め、約450人の委員に委嘱状を交付しました。7月の新任者研修会は開催できたものの、地区別研修会や全体研修会については新型コロナウイルスの影響から中止としたため、「コロナ禍における福祉委員活動の手引き」を新たに作成配布し、活動の支援に努めました。

新型コロナウイルスの影響に伴う休業等により収入が減少した生活困窮世帯への支援策として昨年3月から開始された生活福祉資金の特例貸付が令和3年3月末まで延長されたことに伴い、多くの申込みや相談が寄せられたことから、職員の配置転換を行いながら円滑な業務遂行に努めました。また、相談者の中には食糧支援など複合的な課題を抱えた方もあったことから、緊急支援品の支給と併せ生活困窮者の支援を行いました。

コロナ禍においても、地域の関係者による継続的な見守り活動を展開してもらうため、地区社協の協力の下、配布物を通じた見守り活動に取り組みました。その中で、各種相談窓口のチラシを配布したことで、電球交換など軽易な困りごとの相談も寄せられ、可能な限り職員で対応を行いました。高年齢等の在宅生活における潜在的なニーズも見えてきたことから、ちょっとした困りごとを住民相互の力で解決するための生活支援ボランティアの育成など、新たな課題も生じています。

福祉教育の一環として実施している小中学生を対象とした福祉標語コンテスト及び高校生以上を対象としたふれあいフォトコンテストについては、引き続き募集を行い、福祉意識の高揚・啓発に努めました。また、小学校からの要請に応じて、高齢者疑似体験用具を活用した福祉体験教室を行いました。

本会が主催する集合型研修や講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度の開催を中止としましたが、動画配信による講座の開催など、内容や実施方法を変更し、学習の機会を提供しました。

2. 地区社協活動支援の充実及び地域支え合い活動の推進

長期化する新型コロナウイルスの影響から、地区社協活動をはじめ、地域の福祉関係者による福祉活動の停滞や自粛が続いたことから、コロナ禍における新たな形の福祉活動を検討・提案し、住民相互の活動支援に努めました。

地区社協の活動支援については、各地区社協で開催された研修会に職員を派遣し、福祉関係者の連携強化について助言を行うなどの支援をしました。また、2度開催した連絡会では、各地区の活動状況の把握に努めるとともに、見守り活動に関する要援護者情報の提供を行いました。また、コロナ禍においても地域のつながりを絶やさず、地域住民による支え合い活動を継続してもらうため、新たな形の福祉活動を取りまとめた「コロナとうまく付き合うための地区社協活動の手引き」を作成し、支援に努めました。

各地区のよりあい活動については、地域からの要請に応じてレクリエーション指導を行いました。また、コロナウイルスの影響により中止としたよりあい活動支援講座の代替として、よりあい活動実施地区に資料配布による情報提供を行いました。

3. 新規受託事業（日常生活自立支援事業・基幹型相談支援事業）の適正な実施

日常生活自立支援事業については、令和2年1月からの市町村方式への移行後、月平均14件程度の相談が寄せられており、令和3年3月末現在で20名の利用者を支援しています。

今後も金銭管理等の支援が必要な人が安心して生活できるように、関係者と連携しながら事業推進に努めていきます。

基幹型相談支援事業については、次年度からの本格稼働に向けて、10月から正規職員1名を増員し相談体制の強化を図るとともに、相談室を増設するなど事業開始に向けた準備を進めました。また、基幹相談支援センターの設置に向け、所管課と継続的に協議を重ね、当該センターの役割や業務内容について確認を行いました。

特に、相談支援事業において比重の大きい計画相談業務については、所管課の協力の下、他の相談支援事業所への移管を進め、相談員の業務負担の軽減に取り組みましたが、利用者やご家族の意向に加え、コロナウイルスの影響もあいまって移管事務が難航しており、今後の課題となっています。

4. 地域に根ざした在宅福祉サービスの充実

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、厚生労働省、福岡県及び柳川市からの通知又は指導により居宅介護支援事業については、訪問して健康状態等の聞き取りを行う業務に代えて、原則として電話やFAX等を活用し非接触型の支援業務を行いました。また、訪問介護事業については、利用者や従業者の体調管理に努めるとともに、手指消毒やマスク着用など感染予防対策の徹底を図りながら、介護サービスの提供に努めました。社協が持つ公益性の観点から、他事業所が受入れ困難な利用者についても受け入れるように努め、高齢者や障害者（児）一人ひとりが「住み慣れた地域で自分らしく自立した日常生活が送れるように」その人の心身状態や生活環境に応じた福祉サービスの提供を行いました。

以下、令和2年度の事業概要について報告します。

1. 法人経営部門

- (1) 理事会・評議員会等の開催
 - 理事会の開催 4回 (5/28. 9/4. 12/22. 3/16)
 - 監事会の開催 1回 (5/19)
 - 評議員会の開催 2回 (6/23. 3/25)
 - 正副会長会の開催 2回 (12/4. 3/5)
 - 企画財政委員会の開催 0回 (全委員の同意による決議の省略)
 - 評議員選任・解任委員会 2回 (6/2. 9/18)
- (2) 職員の教育・研修 0回 (新型コロナの影響により中止)
- (3) 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣 (大牟田市)
派遣延べ日数 33 日間、派遣者 9 人 (正規職員)
- (4) 福祉人材育成のための実習受入れ
介護員養成実習 (受入中止)、社会福祉援助実習 1 人

2. 地域福祉活動部門

- (1) ボランティアセンター管理運営
 - 窓口対応件数 467 件 ボランティア体験会 (1 日間、12 人参加)
 - ボランティアサロン 6 回開催、延べ 54 人参加
- (2) ボランティア入門講座 中止
- (3) 傾聴ボランティア養成講座 中止
- (4) 災害に強い地域づくり講座 中止
- (5) よりあい活動支援講座 25 団体 ※代表者に資料配布
- (6) 市民福祉講座 Youtube による動画配信、申込者 22 人
- (7) 福祉教育教材配布 (小学校 19 校、特別支援学校 1 校) 632 冊 (教職員分を含む)
- (8) 社協だよりの発行 年 6 回 (No.91~No.96)
- (9) 第 16 回柳川市社会福祉大会 中止
- (10) 地区社協事業
 - 全体連絡会 2 回 個別支援 20 回 地区社協役員研修会 (中止)
- (11) 福祉委員設置推進
 - 307 行政区/449 人 新任者研修 4 日間、全体研修会 (中止)、地区別研修会 (中止)
- (12) よりあい活動支援事業 遊具貸与件数 10 件 レクリエーション指導 4 回 助成金交付 0 件
- (13) 火災見舞品支給 1 件/2 セット
- (14) 物故者敬供事業 800 件
- (15) 助成事業
 - 歳末たすけあい (19 地区社協、977,200 円)
 - 福祉団体活動支援 (4 団体、759,000 円)
 - ボランティア団体活動支援 (3 団体、116,000 円)
 - ボランティア連絡協議会活動支援 (96,000 円)
- (16) 地域における公益的な取り組みの推進
 - 市内清掃活動への参加 1 回

3. 市民福祉サービス部門

- | | | | |
|------------------------|------------------|----------------------------------|---------------------|
| (1) 生活福祉資金貸付事業 | 相談件数 1,620 件 | 申請件数 409 件 | 決定件数 390 件 |
| (2) 緊急支援品支給事業 | 申請件数 109 件 | 実申請者数 48 人 | |
| (3) 心配ごと相談事業 | 開設日数 14 日 | 相談件数 18 件 | |
| (4) 日常生活自立支援事業 | 利用者数 24 人 | 支援回数 | 支援員 408 回、専門員 157 回 |
| (5) 福祉用具貸与事業 | 年間貸与延べ件数 1,207 件 | | |
| (6) 子育て支援ゆずりあい事業 | 譲受件数 14 件 | 譲渡件数 12 件 | |
| (7) ハンディキャブ貸与事業 | 年間貸与件数 24 件 | 実利用者数 13 人 | |
| (8) 各種機材・機器等貸与事業 | 高齢者疑似体験用具 4 件 | | |
| (9) 福祉バス事業 | 利用日数 1 日 | 利用者数 16 人 | |
| (10) 老人福祉センター管理運営 | | | |
| 大和老人福祉センター | 開館日数 214 日 | 延べ利用者数 3,701 人 | |
| 三橋老人福祉センター | 開館日数 193 日 | 延べ利用者数 6,103 人 | |
| (11) 柳城児童館管理運営 | 開館日数 210 日 | 延べ利用者数 (保護者 3,527 人／乳幼児 3,766 人) | |
| (12) ファミリーサポートセンター管理運営 | 活動件数 963 件 | 会員登録数 409 人 | |

4. 在宅福祉サービス部門

- | | | | |
|---------------------|-----------------|----------------|--|
| (1) 介護保険・障害者総合支援事業 | | | |
| 居宅介護支援 | ケアプラン作成 1,377 人 | | |
| 訪問介護 | 利用者数 401 人 | 利用回数 3,734 回 | |
| 障害者居宅介護 | 利用者数 183 人 | 利用回数 2,121 回 | |
| (2) 予防給付事業 | | | |
| 介護予防支援 | 利用者数 256 人 | | |
| 介護予防・日常生活支援総合事業 | 訪問型サービス | | |
| | 利用者数 660 人 | 利用回数 3,817 回 | |
| (3) 在宅介護自費サービス事業 | 利用回数 172 回 | | |
| (4) 地域生活支援事業 | | | |
| 移動支援 | 利用回数 348 回 | | |
| (5) 障害者相談支援事業 | 相談件数 9,259 件 | | |
| (6) 生活管理指導員派遣事業 | 派遣回数 526 回 | | |
| (7) エンゼルサポーター派遣事業 | 派遣回数 193 回 | | |
| (8) 高齢者生きがい活動支援通所事業 | 実施日数 162 日 | 延べ利用者数 1,618 人 | |

事業報告付属明細書

《法人経営部門》

1. 理事会・評議員会等の開催

会議名等	時期・場所等	議案内容及び主な意見
(1) 理事会	第1回理事会 ○令和2年5月28日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事12人（総数12人） ※定数10人以上15人以内 ・監事2人 ※定数2人 ・事務局6人 ○全議案全会一致で可決	議案第1号 令和2年度資金収支補正 [第1号] 議案第2号 令和元年度事業報告及び決算報告 [監査報告及び監事の意見] ・会計処理については、適正な事務処理がなされており、不整な点は無かった。 [主な意見及び質疑] ・柳城児童館の新施設建設について 議案第3号 後任理事選任候補者の推薦 議案第4号 後任評議員選任候補者の推薦 議案第5号 次期評議員選任・解任委員の選任 議案第6号 定時評議員会の招集 議案第7号 評議員選任・解任委員会の招集 報告第1号 令和元年度会長及び常務理事の職務執行状況（下半期）の報告
	第2回理事会 ○令和2年9月4日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事12人（総数13人） ※定数10人以上15人以内 ・監事2人 ※定数2人 ・事務局5人 ○全議案全会一致で可決	議案第1号 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正 議案第2号 企画・財政委員会規程の一部改正 [主な意見及び質疑] ・決議の省略を行う場合の電磁的記録による意見の徴取について 議案第3号 後任評議員選任候補者の推薦 議案第4号 評議員選任・解任委員会の招集
	第3回理事会 ○令和2年12月22日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・理事12人（総数12人） ※定数10人以上15人以内 ・監事2人 ※定数2人 ・事務局5人 ○全議案全会一致で可決	議案第1号 令和2年度資金収支補正 [第2号] 議案第2号 令和2年度資金収支補正 [第3号] [主な意見及び質疑] ・生活福祉資金特例貸付事業の人件費補正について 議案第3号 事務局規程の全部改正 議案第4号 給与規程の一部改正 [主な意見及び質疑] ・職名の変更時期について 議案第5号 就業規則の一部変更 議案第6号 後任理事選任候補者の推薦 報告第1号 令和2年度会長及び常務理事の職務執行状況（上半期）の報告

	<p>第 4 回理事会</p> <p>○令和 3 年 3 月 16 日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事 12 人（総数 12 人） ※定数 10 人以上 15 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・事務局 5 人 <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第 1 号 令和 2 年度資金収支補正 [第 4 号]</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談管理システムの導入について ・PCR 検査キット及びパソコン購入の必要性について <p>議案第 2 号 令和 3 年度事業計画</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉大会の入場整理券の取り扱いについて <p>議案第 3 号 令和 3 年度資金収支予算</p> <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉活動計画の予算について ・住民基本台帳の世帯数と行政区長届出の世帯数に差異がある理由について ・機構改革後の生活支援部門に配置する職員数について <p>議案第 4 号 評議員会の招集</p>
<p>(2) 監事会</p>	<p>第 1 回監事会</p> <p>○令和 2 年 5 月 19 日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事 2 人 ※定数 2 人 <p>○指摘事項なし</p>	<p>令和元年度事業報告及び決算報告に係る監査</p>
<p>(3) 評議員会</p>	<p>定時（第 1 回）評議員会</p> <p>○令和 2 年 6 月 23 日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員 18 人（総数 20 人） ※定数 17 人以上 22 人以内 ・監事 2 人 ※定数 2 人 ・会長、常務理事 ・事務局 6 人 <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第 1 号 令和 2 年度資金収支補正 [第 1 号]</p> <p>[監査報告及び監事の意見]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計処理については、適正な事務処理がなされており、不整な点は無かった。 <p>[主な意見及び質疑]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉バスの利用対象の変更について <p>議案第 2 号 令和元年度事業報告及び決算報告</p> <p>議案第 3 号 後任理事の選任</p>
	<p>第 2 回評議員会</p> <p>○令和 3 年 3 月 25 日</p> <p>○柳川総合保健福祉センター</p> <p>○出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評議員 15 人（総数 20 人） ※定数 17 人以上 22 人以内 ・会長、常務理事 ・事務局 5 人 <p>○全議案全会一致で可決</p>	<p>議案第 1 号 令和 2 年度資金収支補正 [第 2 号]</p> <p>議案第 2 号 令和 2 年度資金収支補正 [第 3 号]</p> <p>議案第 3 号 令和 2 年度資金収支補正 [第 4 号]</p> <p>議案第 4 号 令和 3 年度事業計画</p> <p>議案第 5 号 令和 3 年度資金収支予算</p> <p>議案第 6 号 後任理事の選任</p>

(4) 正副会長会	第1回正副会長会 ○令和2年12月4日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・会長 ・副会長2人 ・常務理事 ・事務局5人	協議第1号 令和3年度機構改革(案) [主な意見及び質疑] ・機構改革に伴う職員数の増減について ・市区町村社協経営指針について
	第2回正副会長会 ○令和3年3月5日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・会長 ・副会長2人 ・常務理事 ・事務局6人	協議第1号 令和3年度事業計画(案) [主な意見及び質疑] ・地域福祉推進における民生委員との連携について ・個別課題等実態調査の対象及び方法について 協議第2号 令和3年度概算予算(案) [主な意見及び質疑] ・柳川市からの補助金及び委託金について ・社協会費の納入率の減少について ・余剰財産再投下の義務化について ・敬供品の見直しについて
(5) 企画・財政委員会	第1回企画・財政委員会 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う「決議の省略」 ○同意者 ・企画・財政委員8人 ※定数8人 ○全議案原案どおり決議	議案第1号 福祉団体等助成金の新規交付 議案第2号 令和2年度福祉団体等助成金の交付
(6) 評議員選任・解任委員会	第1回委員会 ○令和2年6月2日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員選任・解任委員5人 ※定数5人 ・常務理事 ・事務局1人 ○全議案全会一致で承認	議案第1号 後任評議員の選任 ・学識経験者 1人 ・民生委員・児童委員の代表者 1人
	第2回委員会 ○令和2年9月18日 ○柳川総合保健福祉センター ○出席者 ・評議員選任・解任委員5人 ※定数5人 ・会長、常務理事 ・事務局1人 ○全議案全会一致で承認	選任第1号 委員長の選任 議案第1号 後任評議員の選任 ・地区社協の代表者 1人 ・保護司会の代表者 1人
(7) 表彰審査委員会	柳川市社会福祉大会の中止に伴い、被表彰者推薦未実施	

2. 職員の教育・研修

研修名等	時期・場所等	内容及び効果
(1) 職員研修	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	
(2) 人権・同和研修		
i 人権を考えるつどい (柳川市主催)	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	
ii 企業等の事業主に対する人権・同和問題研修会(大牟田地区企業内同和問題研修推進委員会主催)	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	

※上記の他、業務上必要で専門的な外部研修等に適時参加した。

3. 他市町村災害ボランティアセンターへの職員派遣

派遣先等	時期・派遣者等	内 容
(1) 大牟田市災害ボランティアセンター	派遣期間：令和2年7月9日 ～8月31日 派遣日数：延べ33日間 派遣者数：正規職員9人	令和2年7月の豪雨災害により、被害が大きかった大牟田市を支援するため、大牟田市災害ボランティアセンター運営に携わる職員を派遣した。

4. 福祉人材育成のための実習生の受入

実習名等	時期・場所等	内 容
(1) 介護員養成実習	※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため受入中止	
(2) 社会福祉援助実習	令和2年8月～9月 担当：大和支所 地域福祉係	北九州市立大学 1人 26日間

《地域福祉活動推進部門》

1. ボランティア育成・福祉教育

[ボランティアセンター管理運営]

<p>【窓口対応件数】 計 467 件 (前年比 88 件減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの登録 8 件 ・ボランティア活動の相談 56 件 (内訳) 活動希望 9 件、活動要請 10 件 ※この内マッチング件数は 11 件 ・その他の相談 25 件 ・ボランティアセンターへの協力要請 33 件 ・ボランティア連絡協議会からの相談 29 件 ・諸室・印刷機の利用 316 件 ※ボランティアセンターへの訪問者数 153 人 <p>【ボランティア保険加入件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動保険 83 件 895 人(31 人増) ・行事用保険 11 件 ・福祉サービス補償 6 件 ・送迎サービス補償 0 件 	<p>【登録団体件数】 計 68 団体 (前年比 2 団体増)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会ボランティア 6 団体 ・福祉ボランティア 23 団体 ・教育ボランティア 2 団体 ・文化ボランティア 19 団体 ・子育てボランティア 3 団体 ・環境ボランティア 4 団体 ・災害ボランティア 11 団体 <p>【ボランティア体験会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 8/2 ECO 活動に参加しよう! 柳川高校インターアクトクラブ (12 人) ② コロナウイルス感染症の影響により中止 <p>【ボランティアサロン】 毎月第 3 土曜日開催 コロナウイルス感染症の影響により開催は 6 回 参加者 延べ 54 人</p>
<p>【評価及び課題】</p> <p>コロナ禍で施設や病院、ボランティア団体等のボランティアの受け入れ先がなく、活動につなげることができなかった。コロナ禍だからこそその課題や必要とされるニーズがあると思われるので、感染拡大防止対策を講じつつ、ボランティア活動ができる方法を模索していく。</p>	

[各種講座関係]

事業の名称	事業内容・評価及び課題
ボランティア講座	<p>※コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>【評価及び課題】 今年度は、ボランティア講座を通じて、地域食堂の普及推進を図ることを計画していたが、コロナ禍により視察等が困難な状況であったため中止とし、次年度に実施することとした。</p>
傾聴ボランティア養成講座	<p>※コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>【評価及び課題】 対面やロールプレイによる演習を主とする内容のため、今年度の開催を中止し、同内容で次年度に開催することとした。</p>
災害に強い地域づくり講座	<p>※コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>【評価及び課題】 災害図上訓練等の防災に関する講座の開催を予定していたが、コロナウイルス感染症の影響により中止した。近年毎年のように大規模災害が発生しているため、いつ来るかわからない災害に備えて、次年度については可能な限り講座を実施していきたい。</p>

市民福祉講座	<p>市民の福祉への関心を高め、身近なテーマについて学習する機会を提供するために実施。</p> <p>○Youtube による動画配信にて開催 【配信期間】1月18日～29日</p> <p>【配信内容】①コロナ禍での子育て Q&A 講師 助産師 寺田 恵子 氏 総再生回数：413回（動画5本）</p> <p>②自宅遊びにマンネリ化…、こんな遊びはいかが？ 講師 児童厚生員 森 郁子 氏 総再生回数：71回（動画2本） 申込者 22人</p> <p>【評価及び課題】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、集合型の講座に替え、動画配信による開催とした。動画の再生回数及び受講者アンケートから、子育て世帯に動画配信の需要があることが確認できたため、今後も動画配信も視野に入れて内容を検討していきたい。</p>
--------	---

[福祉教育関係]

事業の名称	事業内容・評価及び課題
福祉教育教材活用事業	<p>7月10日、市内19小学校と柳河特別支援学校の3年生から5年生（学校で1学年選択）に632冊配布。</p> <p>【評価及び課題】 具体的なイラストがあり、子どもにとって分かりやすく、教師も指導しやすいと報告があった。引き続き、学校と連携し教材を活用した福祉教育を進めていきたい。</p>

2. 調査・広報・普及

事業の名称	事業内容・評価及び課題
社協だより発行 （年6回発行） 第91～96号	<p>年6回発行（5/15、7/15、9/15、11/15、1/15、3/15）</p> <p>【第91号】第2期地域福祉活動計画、令和2年度事業計画、社協会費依頼、フォトコンテスト作品募集、新入職員紹介等</p> <p>【第92号】令和元年度事業報告・決算報告、第2期地域福祉活動計画、社協会費納入依頼、福祉委員紹介、コラム等</p> <p>【第93号】赤い羽根共同募金協力依頼、新任福祉委員研修会報告、子育て支援ゆずりあい事業紹介、地区社協活動紹介等</p> <p>【第94号】第2期地域福祉活動計画、各種相談窓口の紹介、よりあい活動報告、子育て講座受講者募集、地区社協活動紹介等</p> <p>【第95号】年頭挨拶、福祉標語・フォトコンテスト入賞作品紹介、独居高齢者のつどい報告、ボランティア講座受講者募集等</p> <p>【第96号】第2期地域福祉活動計画、組織改革お知らせ、福祉大会実行委員募集、福祉出前講座紹介等</p> <p>【評価及び課題】 字体や文字の大きさ、余白、レイアウトの統一化など、読みやすい広報誌づくりに努めた。次年度、更に刷新を図り、広報誌の充実を図っていく。</p>

インターネットによる情報配信	<p>○ホームページ 随時更新を行い、社協事業など最新の情報を掲載し、市民に情報提供を行った。 ・年間アクセス件数 12,419 件</p> <p>○フェイスブック フェイスブックを通して、社協事業や地域福祉の情報提供及び啓発活動を行った。</p> <p>【評価及び課題】 紙媒体とインターネットを併用した情報提供及び広報活動の充実に努めていく。</p>
各種基礎調査	<p>人口や世帯数、高齢者、障がい者等に関するデータ把握のため基礎調査を実施。 《令和2年3月31日現在データ》</p> <p>①人口 65,265 人（前年比 737 人減） ・65 歳以上の割合 33.3%（前年比 0.5%増） ・75 歳以上の割合 17.5%（前年比 0.4%増） ・14 歳未満の割合 11.9%（前年比 0.1%減）</p> <p>②世帯数 25,875 戸（前年比 201 戸増）</p> <p>③65 歳以上独居高齢者数 4,406 人（前年比 205 人増）</p> <p>④65 歳以上高齢者世帯数 3,415 戸</p> <p>【評価及び課題】 調査した福祉データを各種研修や出前講座等等で活用し、市民への福祉啓発を推進していく。</p>
第 16 回柳川市社会福祉大会	<p>※不特定多数の来場者が見込まれる大規模なイベントであり、コロナ感染防止対策が講じ難いうえ、来場者の安全確保も困難なことから中止とした。</p> <p>【評価及び課題】 次年度、改めて実行委員会を立ち上げ大会準備を進めていく。</p>

3. 小地域福祉ネットワーク、よりあい活動

事業の名称	事業内容・評価及び課題
福祉委員設置推進事業 (通年)	<p>○福祉委員設置状況 (R3.3 月末現在) 福祉委員数 449 人 (307/323 行政区)</p> <p>○研修等開催状況</p> <p>1) 新任福祉委員研修会 7月2日 サンプリッジ、7月3日 大和生涯学習センター、7月29日 水の郷、7月30日 水の郷 (参加者合計 95 人)</p> <p>2) 福祉委員地区別研修会 (中止) ※地区別研修の代替として、「コロナとうまく付き合うための福祉委員活動の手引き」を作成し配布した。</p> <p>3) 福祉委員全体研修会 (中止)</p> <p>【評価及び課題】 第 5 期委員の委嘱に伴い、新任者研修を市内 4ヶ所に分けて実施した。また、全体研修会及び地区別研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としたが、活動支援の一環として、コロナ禍における活動の手引きを新たに作成し、福祉委員全員に配布を行った。次年度も、コロナウイルスの感染状況を見ながら、研修の企画及び福祉関係者との連携強化に努めていく。</p>

<p>地区社協事業</p>	<p>○地区社協個別支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部研修への職員派遣 8 地区 ・その他、活動への支援 12 件 <p>※コロナとうまく付き合うための地区社協活動の手引きを作成し、活用を図る。</p> <p>○地区社協連絡会（7月14日、3月11日の2回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協連絡会役員改選について ・令和2年度市社協事業及び組織体制について ・次年度の助成金、連絡会事業について ・コロナ禍における地区社協活動について ・市社協組織の見直しについて ・各地区の課題共有及び情報交換 <p>○地区社協役員研修会（中止、次年度に延期）</p> <p>○みんなが主役の元気な地域づくりセミナー 県社協主催による動画配信にて開催（各地区社協に開催案内発送）</p> <p>【評価及び課題】 新型コロナウイルスの影響により各地区社協とも従来の福祉活動を控える傾向が見られたことから、コロナ禍における福祉活動の提案及び活動の手引きを新たに作成し、活用を依頼した。また、地域のつながりを絶やさず、見守りなどの福祉活動が継続して展開できるよう、脳トレや相談窓口などに関する様々な配布物を作成し、地区社協を通じて要支援者へ見守りを兼ねて配布してもらった。 今後も、各地区への個別支援を中心に、関係者同士の情報共有の場づくりや活動における課題把握に努めていく。</p>
<p>よりあい活動普及推進事業</p>	<p>○よりあい活動支援講座の開催</p> <p>3月8日、地域デイサービス、よりあい活動実施団体代表者に資料送付（25団体）</p> <p>【配布資料】・新しいよりあい様式を見つけよう！ （三密を避けた活動の事例紹介）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりあいに役立つ情報お伝えします！ （コロナ禍における活動事例が紹介されているホームページ等の紹介） ・新しい貸出遊具紹介します！ （市社協で貸出を行っているよりあい活動室内遊具の紹介） <p>○よりあい活動室内遊具の貸与 貸与件数 10 件（内訳：地域デイサービス 7、老人会 1、その他 2）</p> <p>○レクリエーション指導回数 年 4 回</p> <p>○新規立ち上げのための助成金交付 助成団体数 0 団体</p> <p>【評価及び課題】 新型コロナウイルス感染症の影響により、支援講座の開催に替え、よりあい活動実施団体代表者へ資料配布を行った。感染への不安から活動を控える地区も多く、遊具の貸与件数、レクリエーション指導回数ともに前年度から大きく減少した。また、今年度は新規立ち上げが難しい状況であったため、助成金の申請団体はなかった。 今後も引き続き、よりあい活動の更なる普及を目指し、事業の周知を図っていく。</p>

4. 当事者及び当事者団体への支援

事業の名称	事業内容・評価及び課題
火災見舞品支給事業	火災に遭われた世帯に対して、急場の生活維持のために救援物資の支給を行う。 支給件数 1件 (2セット) 【評価及び課題】 被災状況の情報を正確に把握し、速やかに見舞品を届けられるように努める。
物故者への敬供事業	敬供件数 800件 (前年比 52件減) ※敬供品 線香及び弔意 ・市内 794件 (-50) ・市外 6件 (-2) 【評価及び課題】 香典返し寄付の件数、金額ともに逡減傾向にあるため、今後、敬供事業の在り方を検討していく必要がある。
歳末助け合い事業 ※助成事業 (12/1~12/31)	新年を迎える時期に要支援者が安心して暮らすことができるように、地区社会福祉協議会の歳末事業を支援した。 ・実施地域：柳川8地区、大和6地区、三橋5地区 ・助成額 977,200円 (前年比 5,700円減) ・主な事業：一人暮らし高齢者、寝たきり高齢者及び施設入居者等への見舞品配布 (カツオパック、お茶、タオル、手紙など) 【評価及び課題】 地区社協を通じた年末時期のたすけあい活動として定着してきている。歳末期に限らず、平常時における声かけや見守り活動の充実に繋がる支援を行っていききたい。
福祉団体活動支援事業 ※助成事業	市内で活動する福祉団体の当事者同士の交流、福祉制度の学習や広報啓発の活動を支援した。 ・助成団体数 4団体 (前年比±0) ・助成額 759,000円 (前年比 51,000円減)
ボランティア団体活動支援事業 ※助成事業	誰もが安心して暮らせる地域づくりのため、主に市内で活動するボランティア団体の活動を支援した。 ・助成団体数 3団体 (前年比±0) ・助成額 116,000円 (前年比 10,000円増)
ボランティア連絡協議会活動支援事業 ※助成事業	市内でボランティアを行う団体又は個人の繋がりを作り、活動を推進するために、ボランティア連絡協議会の活動を支援した。 ・助成額 96,000円 (前年比 11,000円増)

5. 地域における公益的な取り組みの推進

事業の名称	事業内容・評価及び課題
地域公益活動への参加	○道守柳川ネットワーク清掃活動への参加 10月29日 4人参加 2月28日の清掃活動は中止 【評価及び課題】 社会福祉法人連絡協議会 (11団体加入) の事務局として、総会・役員会等の組織運営や未加入法人への加入促進及び清掃活動への積極的な参加を行った。

《市民福祉サービス部門》

1. 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

資金種類		相談件数				申請 件数	決定 件数	償還完 了件数	年度末 貸付数
		申込	償還	その他	計				
総合支援 資金	生活支援費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	16件
	住宅入居費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	一時生活再建費	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
	特例生活支援費	613件	0件	0件	613件	129件	119件	0件	119件
臨時特例つなぎ資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	2件
福祉資金	福祉費	36件	2件	1件	39件	3件	3件	2件	30件
	緊急小口資金	52件	0件	0件	52件	18件	18件	14件	50件
	特例緊急小口資金	873件	0件	0件	873件	246件	237件	0件	237件
教育支援 資金	教育支援費	19件	0件	2件	21件	6件	6件	4件	142件
	就学支度費	17件	0件	2件	19件	7件	7件	3件	
不動産担 保型生活 資金	一般世帯	2件	0件	0件	2件	0件	0件	0件	2件
	要保護世帯	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	
離職者支援資金		0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	3件
海苔養殖業者緊急生活資金		0件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	13件
合 計 (前年比)		1,612件 (+1,523)	3件 (-1)	5件 (+5)	1,620件 (+1,527)	409件 (+374)	390件 (+355)	23件 (-1)	614件 (+367)

【評価及び課題】

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例貸付資金の申請期間が令和3年3月末まで延長され、相談や申込受付など対応するため、一時的に職員の配置転換を行うなど業務遂行能力の増強に努めた。
 次年度も新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないことから、適時延長が考えられるため、相談者に寄り添った対応ができるような体制を整えていく必要がある。また、生活保護費からの代理納付制度が可能となるように、引き続き行政と協議を行っていく。

2. 緊急支援品支給事業

申請件数	実申請者数	延べ 世帯人数	支給品区分				フードバンクくるめ 県社協、寄付等
			アルファ米	パン (缶)	主食 (インスタント)	副食 (インスタント)	
109件 (+71)	48人 (+24)	214人 (+161)	73食 (-133)	4缶 (-93)	486食 (+486)	949食 (+949)	缶詰、麺類、白米、パン (缶)、レトルト食品等

【評価及び課題】

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当該事業の申請件数、実申請者数、延べ世帯人数ともに前年を大きく上回った。そのため、令和2年8月に支給要件の緩和やフードバンクくるめに支援品を取りに行く回数を増やすなど、生活困窮者世帯へ緊急的な対応に努めた。
 また、今年度は、行政機関からだけでなく民生児童委員や福祉委員など地域の福祉関係者からの照会もあったため、今後、生活困窮者やその支援にも浸透していくよう事業周知に努めていく。

3. 心配ごと相談事業（市受託事業）

場 所	開設日・時間	開設日数	相談件数	主な相談事項
柳川総合保健福祉センター 「水の郷」	第1・第3木曜日 13:00～16:00	14日 (-31)	18件 (-20)	財産、人権・法律、苦情
<p>【評価及び課題】 新型コロナウイルスの影響により、4月から6月まで及び1月下旬から3月上旬までの間、当該事業を中止した。また、6月から相談日を毎月第1・第3木曜日に変更したため、開設日数、相談件数ともに大幅に減少した。今後、感染対策を徹底しながら事業を実施していく。</p>				

4. 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

利 用 者 数	24人(+1) ※年度中途の契約解除者を含む [内訳] 認知症高齢者17人、知的障がい者2人、精神障がい者5人		
支 援 内 容	日常的な金銭管理、通帳預り、福祉サービス利用援助、生活上の助言		
支 援 回 数	支援員408回(+124)、専門員157回(+108) ※延べ支援回数		
<p>【評価及び課題】 本事業の需要は、ひとり暮らし高齢者の増加に伴い増加しているが、支援する専門員及び生活支援員は、社協職員が通常業務と兼務しながら対応していることから、生活支援員1人あたりが対応できる利用者数に上限を設けているため、市民の福祉ニーズに十分に対応できていない状況である。 また、現在の利用待機者5名については、利用開始の見通しが立たない状況が続いているため、担当職員の増員について行政と協議したり、ボランティア活動や福祉に関心のある方を市民生活支援員として養成したりするなど、生活支援員の確保について検討する必要がある。</p>			

5. 福祉用具貸与事業

用具の種別	年間貸与延べ件数
車 椅 子	276件(-36)
電 動 ベ ッ ド	876件(-3)
歩 行 器	22件(-12)
松 葉 杖	3件(±0)
乳児用ベッド	30件(+14)
合計(前年比)	1,207件(-37)
<p>【評価及び課題】 貸与件数は昨年度と比較して減少しており、特に車椅子については、新型コロナウイルスの影響を受け、通院利用等、外出する利用者向けの貸与が減少したものと考えられる。一方乳児用ベッドは、貸出し対象者を広げたことで貸与件数は増加した。今後も本事業の周知を図りながら、利用者や家族等の負担軽減に貢献できるよう努めていく。</p>	

6. 子育て支援ゆずりあい事業

品目	チャイルドシート	ベビーバス	ベビーベッド	合計
譲受件数	6件 (+5)	4件 (+1)	4件 (+2)	14件 (+8)
譲渡件数	5件 (+5)	2件 (+2)	5件 (+5)	12件 (+12)
合計(前年比)	11件 (+10)	6件 (+3)	9件 (+7)	26件 (+20)

【評価及び課題】

不要となった育児用品を譲りたい人と譲ってほしい人との橋渡しを行うことで、資源の有効活用と子育て世代の育児支援を目的に実施。申請日と本会ホームページのアクセス件数が、広報誌への記事掲載月とその翌月に集中していることから、積極的に記事を掲載し、利用者の増加を図っていく。

7. ハンディキャブ（福祉車両）貸与事業

実利用者数 (前年比)	年間貸与件数 (前年比)	評価及び課題
13人 (-1)	24件 (-44)	新型コロナウイルスの影響を受け、通院を含む外出を控える利用者が増えたため、貸与件数は減少した。 また、令和2年1月から休日を含め、最大4泊5日までの利用を可能としたが、現在の利用者は主に通院に利用される方が多く、年間貸与件数の内、当日返却10件、1泊2日の貸出が6件と短期間での貸与が過半数を占めている。事業紹介チラシ等で、貸出期間が延長されたことを周知し、今後も車椅子利用者の外出支援に努める。

8. 各種機材・機器等貸与事業

貸与品目	年間貸出件数	評価及び課題
高齢者疑似体験用具	4件（学校2、福祉施設2）	事業紹介チラシを各学校等に送付し利用促進を図っていく。

9. 福祉バス事業（市受託事業）

利用団体	利用日数	利用者数
市・単位老人クラブ	1日 (-41)	16人 (-606)
福祉団体	0日 (-16)	0人 (-227)
地域団体	0日 (-2)	0人 (-34)
民生児童委員協議会	0日 (-3)	0人 (-40)
市・地区社会福祉協議会	0日 (-14)	0人 (-215)
柳川市	0日 (-2)	0人 (-67)
合計(前年比)	1日 (-78)	16人 (-1,189)

【評価及び課題】

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、福祉バスの運行を中止した期間が長かったこともあり、利用は大幅に減少した。今後、感染予防対策を徹底しながら、事業運営を行っていく。

また、車両の使用年数が23年、走行距離が25万kmを超えているため、車両の老朽化が課題である。

10. 大和・三橋老人福祉センター管理運営（市受託事業）

〔大和老人福祉センター〕

月	開館日数	利用者数	平均利用者数
4月	3日	62人	20.7人
5月	0日	0人	0.0人
6月	25日	185人	7.4人
7月	25日	385人	15.4人
8月	22日	361人	16.4人
9月	25日	454人	18.2人
10月	27日	539人	20.0人
11月	24日	447人	18.6人
12月	24日	479人	20.0人
1月	14日	313人	22.4人
2月	0日	0人	0.0人
3月	25日	476人	19.0人
合計 (前年比)	214日 (-76)	3,701人 (-5,850)	17.3人 (-15.6)

【評価及び課題】

新型コロナウイルス感染拡大の影響によるセンターの閉館や、感染への不安からセンターの利用を控える方も多く見られ、開館日数、利用者数ともに大幅に減少した。

今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、安心して利用できるセンター運営に努めていく。

〔三橋老人福祉センター〕

月	開館日数	利用者数	平均利用者数
4月	3日	130人	43.3人
5月	0日	0人	0.0人
6月	24日	742人	30.9人
7月	23日	728人	31.7人
8月	20日	624人	31.2人
9月	21日	683人	32.5人
10月	24日	814人	33.9人
11月	21日	689人	32.8人
12月	21日	696人	33.1人
1月	12日	385人	32.1人
2月	0日	0人	0.0人
3月	24日	612人	25.5人
合計 (前年比)	193日 (-65)	6,103人 (-4,133)	31.6人 (-8.1)

【評価及び課題】

新型コロナウイルス感染拡大の影響によるセンターの閉館や、感染への不安からセンターの利用を控える方も多く見られ、開館日数、利用者数ともに大幅に減少した。

今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、安心して利用できるセンター運営に努めていく。

11. 柳城児童館の管理運営（市受託事業）

月	開館日数	つどいの広場利用者数		つどいの広場 相談件数	児童館 相談件数
		保護者	乳幼児		
4月	3日	13人	18人	41件	0件
5月	5日	72人	119人	85件	1件
6月	22日	269人	266人	206件	14件
7月	20日	220人	215人	164件	5件
8月	20日	238人	262人	170件	3件
9月	19日	287人	295人	206件	9件
10月	22日	405人	388人	277件	12件
11月	19日	405人	418人	243件	18件
12月	20日	394人	412人	232件	37件
1月	19日	303人	355人	205件	27件
2月	18日	357人	379人	204件	8件
3月	23日	564人	639人	335件	56件
合計 (前年比)	210日 (-30)	3,527人 (-589)	3,766人 (-1,057)	2,368件 (-158)	190件 (-5)

柳城児童館では、主に地域子育て支援拠点事業（つどいの広場「このゆびとまれ」）を実施しており、乳幼児の親子を対象としたノンプログラムでの交流の場を基本とし、子育て情報の提供や子育て相談、子育てセミナーなどの講座を実施している。また、18歳未満の子育て中の親の相談も受け付けている。

○実施している子育て講座（参加者延べ数 親子で948人）

- ・ゆりかご子育てセミナー（年3クール実施、1クールは中止）
- ・おしゃべりカフェセミナー（年1クール実施、1クールは中止）
- ・子連れDE防災講座（年1回 zoom でのweb配信も実施）
- ・助産師相談（年38回）
- ・ZOOM オンライン子育て広場（6回）
- ・ベビーマッサージ講座（年10回）
- ・小児科医相談・座談会（中止）
- ・絵本の会（中止）
- ・双子ちゃんあつまれ（随時実施）
- ・子どもの怪我病気の対応（中止）
- ・ミニプレーパーク（中止）
- ・蒲池中学校子育て広場（中止）
- ・前向き子育て講座 1クール

【評価及び課題】

新型コロナウイルスの影響により、閉館や入場制限等しながら事業を実施した。利用時間を短縮し、前後の時間を消毒活動に充て、感染予防対策に万全を尽くし、利用者の安心につなげた。結果、開館時の利用者数は、コロナ禍でも減ることはなかった。

緊急事態宣言で閉館中はオンライン子育て広場を実施し、悩み相談や不安の軽減を図った。Facebookに加え、Instagramも開始し情報発信にも力を入れた。

行政との連携では、お互いの事業に人材を派遣し合い、重篤な相談は連携して解決に当たることが出来た。また、日曜開館を野外活動として実施することで、父親や働く母親の利用が定着した。今後、更に親子の育ちに寄与していけるよう努力していく。

12. ファミリーサポートセンターの管理運営（市受託事業）

<p>【会員登録状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おねがい会員…294人（前年比 -33人） ・まかせて会員…91人（前年比 -13人） ・どっちも会員…24人（前年比 -5人） <li style="padding-left: 40px;">合計…409人（前年比 -51人） <p>【まかせて会員養成講座】 新型コロナウイルスの影響により中止</p> <p>【交流会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 3月9日 参加人数6人 ※第2回は新型コロナウイルスの影響により中止 	<p>【活動件数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・963件/年（前年比 +142件） <p>【主な活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育所及び保育園から習い事までの送迎 ・学童保育所及び保育園からの迎えと預かり ・学童から自宅までの送迎 ・保育園登園前の預かりから保育園への送り ・兄弟の通院時の預かり ・保護者の外出時の預かり ・保護者の仕事復帰に伴う諸準備時の預かり ・自宅から保育園までの送り ・登校や学童までの預かりと送り
<p>【評価及び課題】</p> <p>緊急事態宣言発令期間中においては、子どもの預かりに関する活動を中止したものの、年間の活動件数は増加した。これは、令和元年度から、柳川市が利用料金の一部を助成し個人負担が減額されたことで、当該事業の利用促進につながっているものと思われる。</p> <p>個人負担が安価になったことで、今後もサポート依頼の増加が予想されることから、まかせて会員の加入促進と併せて、必要度の高い依頼内容を優先させるなどニーズを精査しながらマッチングしていく必要がある。</p>	

《在宅福祉サービス部門》

1. 介護保険事業・障害者総合支援事業

月	居宅介護支援	訪問介護		障害者総合支援	
	利用者数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数
4月	122人	34人	342回	15人	169回
5月	119人	34人	361回	14人	163回
6月	119人	35人	340回	16人	194回
7月	113人	33人	338回	16人	148回
8月	112人	32人	338回	16人	190回
9月	116人	30人	291回	16人	187回
10月	115人	34人	320回	15人	203回
11月	118人	35人	307回	15人	182回
12月	114人	36人	316回	15人	187回
1月	109人	31人	255回	15人	152回
2月	108人	34人	251回	15人	155回
3月	112人	33人	275回	15人	191回
合計 (前年比)	1,377人 (-117)	401人 (+2)	3,734回 (-485)	183人 (-29)	2,121回 (+42)

【評価及び課題】

新型コロナウイルス感染症への対応として、居宅介護支援については、電話対応等による非接触型の支援に努めた。訪問介護については、利用回数の多い方の入院や入所、死亡等により利用回数は減少した。障害者総合支援事業に関しては、利用者数は減少したが、1人当たりの訪問回数が増えたことにより利用回数は若干増加した。今後も、信頼される介護サービスの提供に努めていきたい。

2. 予防給付事業

月	介護予防支援	総合事業（現行相当訪問介護）	
	利用者数	利用者数	利用回数
4月	24人	54人	305回
5月	22人	52人	314回
6月	24人	57人	352回
7月	23人	55人	336回
8月	23人	55人	307回
9月	21人	57人	321回
10月	21人	60人	357回
11月	20人	60人	332回
12月	19人	55人	327回
1月	19人	51人	274回
2月	19人	51人	271回
3月	21人	53人	321回
合計 (前年比)	256人 (-17)	660人 (+5)	3,817回 (-147)

【評価及び課題】

介護予防居宅介護支援・現行相当訪問介護サービスともに、若干昨年度を下回る利用者数・利用回数となった。利用者の自立支援のために、より専門性を発揮したサービスを提供できるよう努めていきたい。

3. 在宅介護自費サービス事業

月	実利用者数	利用回数
4月	6人	21回
5月	7人	15回
6月	7人	15回
7月	5人	15回
8月	5人	13回
9月	6人	14回
10月	5人	13回
11月	5人	12回
12月	6人	15回
1月	5人	13回
2月	6人	14回
3月	5人	12回
合計 (前年比)		172回 (-164)

【評価及び課題】
 徐々に事業の周知も進み、利用者数、利用回数ともに維持できていたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、余暇活動や施設入所者への支援が行えず、利用者数・利用回数ともに減少した。今後も引き続き、利用者の要望に柔軟に対応できるようサービス内容を工夫・改善しながら自費サービスの提供に努めていく。

4. 地域生活支援事業（市受託事業）

[移動支援事業]

月	実利用者数	利用回数
4月	3人	13回
5月	2人	4回
6月	4人	35回
7月	5人	41回
8月	5人	23回
9月	4人	31回
10月	6人	46回
11月	6人	42回
12月	5人	39回
1月	5人	27回
2月	3人	21回
3月	5人	26回
合計 (前年比)		348回 (-5)

【評価及び課題】
 移動支援事業の利用者数は年間を通して維持できたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、特別支援学校の休校等の影響もあり、若干の減少となった。今後も利用者の年齢や特性を考慮し、社会参加のための外出や余暇活動に同行し、安全に支援していきたい。

【障害者相談支援事業】

障害種別	身体	知的	精神	発達障害	難病	重度心身	高次脳機能障害	その他	合計
月	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
4月	135件	415件	106件	18件	0件	86件	0件	51件	811件
5月	85件	406件	122件	29件	4件	67件	1件	33件	747件
6月	104件	373件	149件	27件	0件	40件	8件	39件	740件
7月	162件	288件	139件	32件	0件	91件	14件	42件	768件
8月	72件	259件	128件	29件	0件	47件	5件	33件	573件
9月	113件	325件	143件	45件	0件	37件	4件	25件	692件
10月	156件	352件	209件	21件	0件	52件	4件	62件	856件
11月	133件	327件	194件	30件	0件	69件	3件	56件	812件
12月	128件	297件	148件	30件	0件	73件	20件	77件	773件
1月	149件	232件	188件	13件	0件	83件	12件	60件	737件
2月	134件	324件	148件	26件	0件	46件	0件	40件	718件
3月	200件	491件	178件	48件	0件	35件	3件	77件	1032件
合計 (前年比)	1571件 (-524)	4089件 (+288)	1852件 (-473)	348件 (+72)	4件 (-2)	726件 (-45)	74件 (+7)	595件 (-32)	9,259件 (-709)
相談比率	17.0%	44.1%	20.0%	3.8%	0.1%	7.8%	0.8%	6.4%	—

【相談方法】 関係機関(43%)、電話(28%)、訪問(6%)、来談(2%)、電子メール(2%)、同行(1%)、その他(18%)

【支援内容】 福祉サービス(24%)、健康・医療(13%)、生活技術(13%)、家計・経済(10%)、人間関係(6%)、就労(5%)、不安の解決(4%)、社会参加(3%)、障害・病気の理解(2%)、保育教育(2%)、権利擁護(2%)、その他(16%)

【サービス利用計画作成件数 166件】

内訳：知的 91件、身体 33件、精神 21件、重度心身 16件、高次脳 2件、発達障害 3件

【評価及び課題】

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、国、福岡県及び柳川市からの通知又は指導により、一般相談及び計画相談業務については、面談による聞き取りを行う業務に代えて、原則として電話対応による非接触型の支援を行った。相談件数は若干減少しているが、医療や生活に関する多岐にわたる相談が増えており、権利擁護や生活全般の相談に対して長期的な相談支援が求められている。

次年度からの基幹相談支援センターの本格稼働に向け、職員 1 名を増員し相談体制の強化を図った。また、当該センターの開始準備のため、所管課の協力の下、計画相談の移管を進めたが、コロナの影響や利用者及びご家族の意向もあり思うように移管が進まず、今後の課題である。

5. 生活管理指導員派遣事業・エンゼルサポーター派遣事業〔市受託事業〕

月	生活管理指導員派遣		エンゼルサポーター派遣	
	実利用者数	派遣回数	実利用者数	派遣回数
4月	11人	33回	0人	0回
5月	12人	37回	0人	0回
6月	13人	41回	2人	7回
7月	14人	42回	2人	16回
8月	13人	36回	2人	19回
9月	11人	32回	2人	19回
10月	12人	40回	1人	22回
11月	13人	38回	1人	19回
12月	14人	43回	1人	19回
1月	18人	52回	1人	18回
2月	18人	59回	2人	19回
3月	22人	73回	2人	35回
合計 (前年比)		526回 (+94)		193回 (+193)

【評価及び課題】

生活管理指導員派遣事業については、利用者数は昨年より増加している。日常生活上の支援を必要とするひとり暮らし等の方で要支援の認定を受けた方や、基本チェックリストで該当した方が自立した生活を送ることができるよう引き続き支援を行っていく。エンゼルサポーター派遣事業については、今年度2人の利用があった。引き続き所管課と連携し利用者支援に繋げていきたい。

6. 高齢者生きがい活動支援通所事業〔市受託事業〕

月	実施日数	登録者数	実利用者数	延べ利用者数	1日平均利用者数
4月	0日	36人	0人	0人	0人
5月	0日	36人	0人	0人	0人
6月	12日	36人	32人	66人	5.5人
7月	20日	40人	35人	198人	9.9人
8月	18日	41人	33人	181人	10.1人
9月	19日	41人	31人	180人	9.5人
10月	22日	44人	35人	236人	10.7人
11月	19日	48人	37人	204人	10.7人
12月	19日	49人	36人	206人	10.8人
1月	11日	50人	35人	122人	11.1人
2月	0日	50人	0人	0人	0人
3月	22日	50人	37人	225人	10.2人
合計 (前年比)	162日 (-51)			1,618人 (-805)	10.0人 (-1.4)

【評価及び課題】

デイサービスを利用することで日常生活における活動意欲の向上及び認知症予防に繋がっている。4～5月、2月は新型コロナウイルスの影響により事業を中止した。利用者は自宅待機されているため、身体・精神的機能低下が危惧され、他の介護サービス利用へ移行される方が数人あった。感染予防対策を講じながらコロナ禍でもできるレクリエーションの充実を図りたい。全体的に利用者の高齢化が進んでおり利用者数は減少傾向にある。事業対象者が大和地区に限定されているため、周知や広報活動に制約があるが、民生委員等を通じて新規利用者の獲得に努めていきたい。

